

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

【推計人口】 7月

令和7年7月1日の推計人口	1,237,327 人
世帯数	558,786 世帯
(参考)	
R2.10.1 現在国勢調査総人口	1,312,317 人
世帯数	558,230 世帯

1. 推計人口

令和7年7月1日現在の推計人口は1,237,327人で、前月(1,238,352人)に比べ△1,025人となった。

市部では、佐世保市(△282)、長崎市(△228)など、12市で減少した。

郡部では、時津町(△43)、川棚町(△31)など、5町で減少した。

自然動態は、出生数543人、死亡数1,437人で△894人、社会動態は、転入者数2,586人(県内転入を含む)、転出者2,717人(県内転出を含む)で、△131人となった。

2. 世帯数

令和7年7月1日現在の世帯数は、558,786世帯で前月(558,871)に比べ△85世帯となった

(注) 異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 5月

1人当たり現金給与総額	274,208 円
対前月比	2.1 %増加
対前年同月比	4.0 %増加

1. 賃金

5月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は274,208円で、前月に比べ2.1%増加し、前年同月に比べ4.0%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は271,148円で、前月に比べ2.4%増加し、前年同月に比べ6.0%増加した。

特別給与額は3,060円で、前年同月に比べ、4,970円減少した。

2. 労働時間

5月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は144.6時間で、前月に比べ3.0%減少し、前年同月に比べ1.9%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は134.4時間で前月に比べ3.3%減少し、前年同月に比べ、1.7%減少した。

所定外労働時間数は10.2時間で、前月に比べ0.0%の同率、前年同月に比べ4.7%減少した。

3. 雇用

5月の常用労働者数は221,176人で、前月に比べ0.1%増加し、前年同月に比べ0.1%減少した。

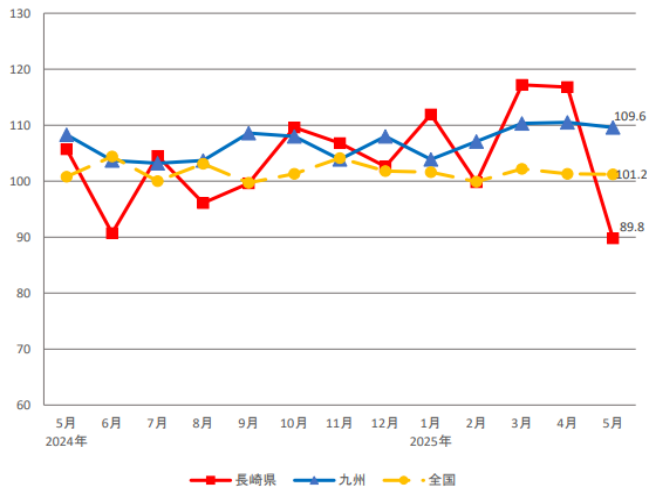
【鉦工業生産指数】 5 月

令和7年5月の鉦工業生産指数

(2020年 = 100)

区分	季節調整済指数	前月比 (%)	原指数	前月同月比 (%)
長 崎 県	89.8	△ 23.1	81.6	△ 14.5
九 州	109.6	△ 0.8	99.5	0.3
全 国	101.2	△ 0.1	95.0	△ 2.4

鉦工業生産指数の推移（季節調整済指数）



2025年5月の鉦工業生産指数は、季節調整済指数が89.8で対前月比は23.1%の低下、原指数は81.6で対前年同月比は14.5%の低下となった。

業種別にみると、電気機械工業、情報通信機械工業、金属製品工業など7業種が上昇し、電子部品・デバイス工業、化学工業、鉦業など6業種が低下した。

○主な上昇業種

業 種	前月比 (%)	上昇に寄与した主 な 品 目
電気機械工業	87.6	交流電動機
情報通信機械工業	23.1	-
金属製品工業	13.9	-

○主な低下業種

業 種	前月比 (%)	低下に寄与した主 な 品 目
電子部品・デバイス工業	△ 49.1	半導体集積回路
化学工業	△ 36.7	-
鉦業	△ 27.8	-

上昇業種、低下業種は全業種13業種から選定している。

寄与した品目については、主要業種7業種のみ掲載している。

（注）前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】 6 月

総合指数（R2 = 100）	112.0
対 前 月 比	△ 0.1 % 下落
対 前 年 同 月 比	3.5 % 上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年（令和2年）を100として、112.0で前月比0.1%の下落であった。

主な上昇要因は「住居」の0.6%上昇、「諸雑費」の0.1%上昇であり、主な下落要因は、「教養娯楽」の1.7%下落、「食料」の0.1%下落であった。

前年同月比は、2月は3.9%上昇、3月は4.0%上昇、4月は3.9%上昇、5月は3.7%の上昇と推移した後、6月は3.5%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は111.7で前月比0.1%の上昇、前年同月比は3.7%の上昇であった。

（前月との比較）

上昇した費目		
住 居		0.6 %
諸 雑 費		0.1 %
同水準の費目		
交 通 ・ 通 信		±0.0 %
教 育		±0.0 %
下落した費目		
家 具 ・ 家 事 用 品		△ 0.1 %
保 健 医 療		△ 0.2 %
被 服 及 び 履 物		△ 0.5 %
光 熱 ・ 水 道		△ 0.3 %
食 料		△ 0.1 %
教 養 娯 楽		△ 1.7 %

※上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

【家計（長崎市・勤労者世帯）】 6 月

消費支出（一世帯当たり）	325,775 円
前 月 比	43, 477円増加（+15.4%）

令和7年6月の長崎市・勤労者世帯（農林漁家世帯を含む）の消費支出は325,775円で、前月比15.4%の増加、前年同月比は17.3%の増加であった。

平均消費性向（可処分所得に占める消費支出の割合）は37.0%であった。

（注）”長崎市の勤労者世帯の家計の平均”と考えず参考値として利用ください。